

1. 復旧の概要

県では、東日本大震災による被災状況を踏まえ、次の考え方で日向貝地先海岸の復旧を進めていきます。

①護岸の高さ：T. P. +3. 2m

(震災により沈下した分を嵩上げし元の堤防高さで復旧します。)

②復旧の範囲：延長262. 5m(下記図に記載しています。)

③護岸の幅：約 10. 0m

④護岸の形：コンクリート構造で原形を基本的なとし、地質調査により土地利用の状況を踏まえて決定します。

2. 測量調査について

県では、復旧工事に先立ち、現地の測量調査を次のとおり実施いたします。

①測量調査の範囲：現況護岸とその周辺部

②測量調査の期間：5月から10月頃までを予定しています。

③測量調査内容：設計測量、用地測量、地質調査(現在ボーリング作業終了)

④測量調査担当者及び連絡先：

※ 左記会社の調査員は、身分証明書を携帯しています。
ボーリング調査の際には、個別にご連絡します。

3. 今後のスケジュールについて

周辺地域内の復興事業の推進状況により、スケジュールが変わる可能性があります。

	H24,4	6	9	12	H25,4	9	H26,4	9	H27,4	9	H28,4
説明会		■		■							
測量作業		→									
設計作業		→									
用地買収				→							
復旧工事					→						

各連絡先

1) 気仙沼土木事務所 河川砂防第1班
担当者：千葉、土屋 0226-24-2564

2) 調査設計会社：パシフィックコンサルタンツ株式会社
担当者：太田 092-409-3032

3) 用地測量会社：株式会社北水コンサルタント
担当者：斎藤 0220-22-2514

復旧計画平面図



凡 例	
—	県 道
—	市 道
—	その他道路
—	海岸堤防
—	河川堤防
—	橋 梁
■	津波浸水区域
■	満潮時浸水区域
●	津波痕跡水深



国土地理院提供

